

(別紙2)

自己評価及び外部評価結果

作成日

令和3年3月23日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2794000600		
法人名	社会福祉法人 香聖会		
事業所名	グループホーム宙(すばる)豊中		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	豊中市永楽荘4-1-3		
自己評価作成日	令和3年1月18日	評価結果市町村受理日	令和3年4月12日

【事業所基本情報】

https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/27/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=2794000600-00&ServiceCd=320

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人エイジコンサーン・ジャパン
所在地	大阪府大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビルITM棟9階
訪問調査日	令和3年3月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・職員への研修を重視し、知識の向上を目指しご利用者様へのサービスをより良い物とすることに力を入れております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

社会福祉法人香聖会が運営している施設。
同じ施設内に特別養護老人ホームや小規模多機能型居宅介護も併設されており、地域に密着した介護サービスを総合的に提供されている。
閑静な住宅地に立地し、利用者は、近隣への散歩や買い物等の外出を気軽に楽しむことができる。
施設内は、明るく広い空間で過ごしやすく、アットホームな雰囲気の中で、生活を楽しめるような環境である。
介護スタッフは、利用者への介護サービスに専念できるように、事務や調理、清掃等は、専門スタッフを配置している。
介護サービスは、管理者を中心に、各職員が相互に助け合い、利用者一人ひとりに寄り添い、安全安心に日常生活を過ごせるよう理念の見直しが行われ、利用者には”第2の我が家”を提供している。

ホーム名:グループホーム宙豊中 チューリップユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理事長が6月に変更となり、事業所理念として「全従業員の物心両面の幸福の追求と福祉と教育を通じて六方笑顔を創造し社会の成長発展に貢献する」に変更となったため、職員の周知に力を入れている。	事業所理念に基づき、具体的な目標を設定し、その実践は、管理者を中心に日々のサービス提供場面を振り返り、理念がケアに反映されているのか確認されている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議に民生委員などに出席して頂いており、関係を築いている。今後、地域の集まりに参加を検討している	事業所1Fの地域交流スペースを活用し、地域との様々なイベントに利用者と職員が参加することにより、地域に暮らす住民の一員として、地域との交流を深めている。現在はコロナ禍でイベントが行われていないが、職員は、地域との交流が途切れないうよう、情報共有に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設一階の交流スペースを開放し、地域の催しに使って頂いたり、施設催しに地域の方へ参加して頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、地域の方に当ホームを理解して頂き、また意見を頂いている	地域包括、民生委員、地域の代表者、利用者のご家族等が出席され、事業所からの状況報告とともに参加者からも質問、意見、要望等が上がり、双方向的な会議が行われている。議事録も適切に整備されている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	入所希望者や見学者について紹介を頂いたり、運営についてのご指導を頂いている。	市の担当者との連携を図ることにより、介護保険最新情報の取得ができ、相談支援体制も適切に構築されている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内研修、外部研修などから身体拘束の知識を深め、職員は常に介助方法の話し合いを持ちながら、身体拘束をしないケアを心がけている	事業所内での研修や会議等で職員同士が意見交換を行い、身体拘束ゼロに向けた取り組みが行われている。また、月1回、身体拘束委員会を適切に開催し、議事録も整備されている。	
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修、外部研修などから、高齢者虐待の知識を身に付け、虐待の無い介護に努めている		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>入所申し込み時、家族や関係者に説明をおこなっている。また、職員には入職時の研修にて説明を実施している。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時は契約書・重要事項説明書をご家族へ説明し、ご不明な点等を確認・説明した後に契約をしている。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関にご意見箱を設け、いつでも感じたことを書いて頂ける様にし、管理者も来訪時に声かけするよう心がけている。また、半年に一回家族会を開催し、ご意見を伺う場を設けている。</p>	<p>家族と話す機会を積極的に設け、要望や意見を積極的に取り入れてケアに反映させるよう心掛けている。</p>	
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>月に一度は職員との面談を実施し、意見を聞くようにしている。また、管理者出勤時に出勤職員に声をかけるようにしている。</p>	<p>日頃から、職員同士で意見を言い合える環境を構築している。さらに毎月開催されるフロア会議やユニット会議などで改めて意見交換を行い、意見の統一を行っている。</p>	
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>昇給・賞与にて、職員の実績を評価し、向上心をもって働いてもらえるよう、話しをする時間を設けている</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内研修・外部研修への参加機会を確保している。それとは別に、管理者が毎月勉強会を開催し、知識習得の場を設けている。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>管理者は地域が主催する研修に極力参加するように心掛けており、その際に交流をするようにしている。</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に必ずご本人様へのご挨拶をし、ご入居に納得されていない方であれば、納得されるまで入居を見合わせる。入居直後は特に厚く関わるよう職員へ指示を実施している。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>既存の方でも同じだが、入居後のご様子を必ず電話・メールにて報告している。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご見学やご相談の際に、その方がグループホームの施設形態へのご入居が適正化を踏まえ、他サービスも含めた上で検討している。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>その時のご本人のご希望やご要望を伺い、入居前の生活と大きく変化がないように心がけている。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族などの来訪された時は、居室ばかりにおらず、リビングで他の利用者や職員と共に過ごして頂く様努めている</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>親族以外の方でも、気軽にご訪問できるようにご入居時にご説明をし、ご本人さまとお会いできるよう努めている。</p>	<p>地域に密着した事業所として、気軽に立ち寄れる環境づくりを心掛けている。 コロナ禍で面談に来られない利用者や家族のために、写真の提供や個別対応など、希望にできる限り寄り添っている。</p>	
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>当施設は横並びにユニットがあり、気のあった人同士が行き来している。また、イベント開催時は合同で参加している</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>ご希望頂いた際は、御退去後でも相談に応じさせてもらっている。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活のなかで何気ない言動にしっかり耳を傾ける様に意識し、ご本人様からの聞き取りが困難な場合は、ご家族様・ご友人様よりお話をお伺いする。	普段のケアの中で知ったことや気づいたことをすぐに今後の支援に反映させ、職員間で共有し、利用者の想いに寄り添っている。	事業所での様々なイベントでの機会を活用し、利用者の願いや望みを把握しながら、利用者のなりたいた自分を引き出して頂き、それをケアプランに反映されていかれることに期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	ご入居前の面談にて、本人・ご家族から生活歴や様々な話を伺う様にしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別に記録を取り、個別対応を心がけている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員全員や往診医からその方のご様子を聞き、介護計画を作成するよう心掛ける。	ケアプランを見ると、誰のプランかわかるほど、アセスメントがしっかりできている。実際も、利用者一人ひとりの状態に寄り添った、プラン以上のケアができています。	さらに、本人や家族から聞き取った想いをケアプランに言語化し、それに基づく目標と期間を設定してみようか。それにより、利用者や家族は、さらに理解してもらえているという安心感にもつながると思われる。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に記録を取り、個別対応を心がけている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別のご希望に応じて、様々なサービスを提供している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	包括主催のイベント等に出席を促している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に往診医を選択できるように案内しており、御本人・ご家族のニーズに応えられるようにしている。	事業所の協力医による2週間ごとの往診により適切な対応を心がけている。 一方で、かかりつけ医の希望がある場合は、家族の協力を得ながらその意向を優先している。	

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>必要時には入居者の状態の観察をさせ、医療的な意見を聞けるようにしている。また、定期的に健康管理を実施している。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院した際には定期的に面会に行き、利用者様の状態把握に努め、家族様の相談にのるように努めている</p>		
33	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所される前に、当ホームでの、できる範囲のことは家族様に説明させて頂いている。重度化した場合には、再度、家族様や病院関係者と話し合いをしている</p>	<p>往診医と重度化した場合の対応や終末期の看取りについて連携し、本人や家族の希望に基づいたケアが実践できている。利用者家族からの信頼も厚く、安心して任せられる施設となっていることがアンケートからもわかる。</p>	
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルを常備しており、すべての職員が実践できるよう努めている。また緊急対応の研修も実施している。</p>		
35	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防火訓練は、年2回行っている。今後、自治会に協力をお願いしていこうと思っている。</p>	<p>年2回の避難訓練のうち、1回は消防署の指導のもと夜間を想定して行っている。対応が難しい事態の訓練こそが今後起こりえる災害時の対策になる。食料は1週間分～10日分の備蓄があり、コロナ禍で厨房閉鎖などの事態も想定した対策が取られている。</p>	

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>居室に入室する際は必ずノックをするよう、職員1人ひとりがよく注意し、対応している</p>	<p>利用者との言葉遣いにおいて、親しみやすさと馴れ馴れしさとの違いを理解し、場面ごとの対応のメリハリをつけることを職員全員が常に意識するよう指導を行っている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>聞くことを大切にし、利用者様が、ゆっくり思いが話せる様導き、納得できる様支援している</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入浴・昼寝・レクリエーションなど、利用者様1人ひとりのペースに合わせてながら支援している</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>何を着るか本人に聞きながら、対応している。理美容時に御本人に希望を伺っている。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>お一人お一人の嗜好には配慮している。定期的に外食レクを実施し、お好きな物を召しあがる機会を設けている。準備や片付けが可能なお方にはテーブル拭きや食器洗いをお手伝いして頂いている。</p>	<p>管理栄養士の管理下で、手作り食が提供されている。利用者は、個々の力を活かしながら食事の準備を職員と一緒にを行い、自分の役割を感じている。現在は外食レクができないため、イベント時には利用者の希望するデリバリーを利用するなど、特別な機会も大切にしている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士によるカロリー計算のもと、献立・調理している。食事量・水分量は時間・量を記録し、少量の場合は補食して頂いている</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、口腔ケアをして頂いている。お一人で実施が難しい方には職員が介助している</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>その方の能力に合わせて、お声掛けやトイレへの誘導や、排泄のお手伝いを実施している。</p>	<p>介助が必要な利用者は、排出パターンにそった排出介助が行われている。ICTを活用したシステム化を行い、排泄パターン把握の精度を高めている。就寝時もセンサーにより利用者の眠りの浅い時を把握して、そのタイミングで声かけを行い、眠りを阻害しないよう気遣われている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排便も記録し、便秘の方へは、水分を多くとっていただくよう促したり、必要であれば住診医へ相談を実施する。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>週に二回入浴できるよう曜日を設定している。</p>	<p>原則は週2回の入浴であるが、発汗や利用者の希望がある場合には、臨機応変にシャワーや清拭を行い、利用者が清潔で気持ちのよい生活ができるよう配慮している。入居者一人一人の状態や希望に合わせて、入浴のタイミングや入浴方法を調整している。</p>	

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>個別で対応しており、眠れない場合などはお話しし、リラックスして頂ける様になっている。必要であれば、往診医へ相談し眠剤の処方も検討する。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>内服薬の変更時は往診記録に残すようにしており、職員へ確認を徹底している。</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>洗濯たたみや、食器洗いを毎日して頂いたり、毎日の体操を楽しみさせている方もおられる。</p>		
49	18 <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>季節によっては、散歩を取り入れている。花見・遠足などにいたり、外食などの希望がある場合は、できるだけ対応しており、家族様にもご協力頂いている</p>	<p>季節感を感じながら、近所の散歩をしたり、外の空気に触れる機会を作っている。現在はコロナ禍で外出できないため、施設内での行事を充実させ、利用者が日々の変化や季節の移り変わりを感じられるよう努めている。</p>	<p>現状では難しいかもしれないが、利用者が気分転換でき、季節を感じられるように、玄関前などの外気浴など、短時間でも、外の空気に触れる機会を持つことを考えてみてはどうか。</p>
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の所持は施設として、原則お断りしている。極少数の方がお金をお持ちであるが、ご家族に紛失時の対応はしかねるとご説明している。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご希望があった時には、電話を取り次いだり、年賀状・暑中見舞などを書いて頂いている。数名の方は携帯電話を所持し、居室で使用されている。</p>		
52	19 <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に沿った装飾を随時行い、季節を感じてもらえる様にしている。日中は太陽の光が入りやすく、明るいフロアであり、温度や湿度にも配慮している。</p>	<p>共有スペースや廊下には、季節を感じられる装飾を掲示している。食事のテーブルは自然と場所が決められており、利用者が「自分の席」を意識できる。</p>	
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファ・椅子にて、1人または気の合った人同士で過ごして頂けるようにしている</p>		
54	20 <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>契約時に家族様と話しをし、利用者様に安心して暮らして頂けるよう工夫している</p>	<p>利用者や家族の希望に合わせて、自宅で使用していた馴染みの物等を持ち込んでもらい、家庭的な第二の住まいとして意識いただけるように支援している。</p>	
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室・トイレには、大きく表札をあげ、わかりやすくしている</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

ホーム名: グループホーム 宙豊中 コスモスユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理事長が6月に変更となり、事業所理念として「全従業員の物心両面の幸福の追求と福祉と教育を通じて六方笑顔を創造し社会の成長発展に貢献する」に変更となったため、職員の周知に力を入れている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議に民生委員などに出席して頂いており、関係を築いている。今後、地域の集まりに参加を検討している		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設一階の交流スペースを開放し、地域の催しに使って頂いたり、施設催しに地域の方へ参加して頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、地域の方に当ホームを理解して頂き、また意見を頂いている		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	入所希望者や見学者について紹介を頂いたり、運営についてのご指導を頂いている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	社内研修、外部研修などから身体拘束の知識を深め、職員は常に介助方法の話し合いを持ちながら、身体拘束をしないケアを心がけている		
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所などでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修、外部研修などから、高齢者虐待の知識を身に付け、虐待の無い介護に努めている		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>入所申し込み時、家族や関係者に説明をおこなっている。また、職員には入職時の研修にて説明を実施している。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時は契約書・重要事項説明書をご家族へ説明し、ご不明な点等を確認・説明した後に契約をしている。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関にご意見箱を設け、いつでも感じたことを書いて頂ける様にし、管理者も来訪時に声をかけよう心がけている。また、半年に一回家族会を開催し、ご意見を伺う場を設けている。</p>		
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>月に一度は職員との面談を実施し、意見を聞くようにしている。また、管理者出勤時に出勤職員に声をかけるようにしている。</p>		
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>昇給・賞与にて、職員の実績を評価し、向上心をもって働いてもらえるよう、話しをする時間を設けている</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内研修・外部研修への参加機会を確保している。それとは別に、管理者が毎月勉強会を開催し、知識習得の場を設けている。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>管理者は地域が主催する研修に極力参加するように心掛けており、その際に交流をするようにしている。</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に必ずご本人様へのご挨拶をし、ご入居に納得されてない方であれば、納得されるまで入居を見合わせる。入居直後は特に厚く関わるよう職員へ指示を実施している。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>既存の方でも同じだが、入居後のご様子を必ず電話・メールにて報告している。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご見学やご相談の際に、その方がグループホームの施設形態へのご入居が適正化を踏まえ、他サービスも含めた上で検討している。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>その時のご本人のご希望やご要望を伺い、入居前の生活と大きく変化がないように心がけている。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族などの来訪された時は、居室ばかりにおらず、リビングで他の利用者や職員と共に過ごして頂く様努めている</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>親族以外の方でも、気軽にご訪問できるようにご入居時にご説明をし、ご本人さまとお会いできるよう努めている。</p>	<p>ご家族や友人、知人が気軽に面会に来てもらえるような雰囲気づくりや近隣への散歩等を通じて、地域の方と交流を行い、地域との関係性も維持継続できるよう日頃のかかわりの中で様々な工夫をしている。</p>	<p>入居するとこれまでの関係性が途切れがちになりやすいと思われるので、友人、知人のことや馴染みのお店、場所等について日常的な会話を通じて思い出してもらえるように努めていかれることに期待したい。</p>
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>当施設は横並びにユニットがあり、気のあった人同士が行き来している。また、イベント開催時は合同で参加している</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>ご希望頂いた際は、御退去後でも相談に応じさせてもらっている。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活のなかで何気ない言動にしっかり耳を傾ける様に意識し、ご本人様からの聞き取りが困難な場合は、ご家族様・ご友人様よりお話をお伺いする。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	ご入居前の面談にて、本人・ご家族から生活歴や様々な話を伺う様にしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別に記録を取り、個別対応を心がけている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員全員や往診医からその方のご様子を聞き、介護計画を作成するよう心掛ける。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に記録を取り、個別対応を心がけている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別のご希望に応じて、様々なサービスを提供している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	包括主催のイベント等に出席を促している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に往診医を選択できるよう案内しており、御本人・ご家族のニーズに応えられるようにしている。		

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>必要時には入居者の状態の観察をさせ、医療的な意見を聞けるようにしている。また、定期的に健康管理を実施している。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院した際には定期的に面会に行き、利用者様の状態把握に努め、家族様の相談にのるよう努めている</p>		
33	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所される前に、当ホームでの、できる範囲のことは家族様に説明させて頂いている。重度化した場合には、再度、家族様や病院関係者と話し合いをしている</p>		
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルを常備しており、すべての職員が実践できるよう努めている。また緊急対応の研修も実施している。</p>		
35	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防火訓練は、年2回行っている。今後、自治会に協力をお願いしていこうと思っている。</p>		

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>居室に入室する際は必ずノックをするよう、職員1人ひとりがよく注意し、対応している</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>聞くことを大切にし、利用者様が、ゆっくり思いが話せる様導き、納得できる様支援している</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入浴・昼寝・レクリエーションなど、利用者様1人ひとりのペースに合わせながら支援している</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>何を着るか本人に聞きながら、対応している。理美容時に御本人に希望を伺っている。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>お一人お一人の嗜好には配慮している。定期的に外食レクを実施し、好きな物を召しあがる機会を設けている。準備や片付けが可能な方にはテーブル拭きや食器洗いをお手伝いして頂いている。</p>		
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士によるカロリー計算のもと、献立・調理している。食事量・水分量は時間・量を記録し、少量の場合は補食して頂いている</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、口腔ケアをして頂いている。お一人で実施が難しい方には職員が介助している</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>その方の能力に合わせて、お声掛けやトイレへの誘導や、排泄のお手伝いを実施している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排便も記録し、便秘の方へは、水分を多くとっていただくよう促したり、必要であれば往診医へ相談を実施する。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>週に二回入浴できるよう曜日を設定している。</p>		

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>個別で対応しており、眠れない場合などはお話し、リラックスして頂ける様になっている。必要であれば、往診医へ相談し眠剤の処方も検討する。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>内服薬の変更時は往診記録に残すようにしており、職員へ確認を徹底している。</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>洗濯たたみや、食器洗いを毎日して頂いたり、毎日の体操を楽しみされている方もおられる。</p>		
49	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>季節によっては、散歩を取り入れている。花見・遠足などにいたり、外出などの希望がある場合は、できるだけ対応しており、家族様にもご協力頂いている</p>		
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の所持は施設として、原則お断りしている。極少数の方がお金をお持ちであるが、ご家族に紛失時の対応はしかねるとご説明している。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご希望があった時には、電話を取り次いだり、年賀状・暑中見舞いなどを書いて頂いている。数名の方は携帯電話を所持し、居室で使用されている。</p>		
52	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に沿った装飾を随時行い、季節を感じてもらえる様にしている。日中は太陽の光が入りやすく、明るいフロアであり、温度や湿度にも配慮している。</p>		
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファ・椅子にて、1人または気の合った人同士で過ごして頂けるようにしている</p>		
54	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>契約時に家族様と話しをし、利用者様に安心して暮らして頂けるよう工夫している</p>		
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室・トイレには、大きく表札をあげ、わかりやすくしている</p>		

V アウトカム項目

56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての利用者として ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない